

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越特別支援学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	課題を基に学校が目指すべき方向を企画委員会や学部・分掌等で検討している。児童生徒・保護者・地域・関係諸機関の期待やニーズなどをより広く把握・分析し、目指す学校像を更に具体的かつ魅力あるものとなるように今後も検討していただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	児童生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。やや網羅的な目標となっているので重点化を図るとともに、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて学部・分掌等で議論を重ね、日々の教育活動の指針となる内容にすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校自己評価システムを運営する組織が明確に位置付けられており、学校評価懇話会等の意見を共通理解した上で本システムシートに反映している。学部・分掌間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を一層促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	前年度に比べ、方策が整理されている。学部・分掌等のシートは作成されているが、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点を取り入れ、学校全体の目標と連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教職員の教育活動状況を把握しており、課題解決のために教育課程複数化などの取組を進めている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的・有機的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。前年度の達成状況の検証を適切に行った上で、方策の見直しを行い、次年度の取組につなげてスパイラルアップを図るようにしていただきたい。
特記事項		